

高松矯正管区教誨師研修会（JKA 競輪補助事業）

記

- 1 実施年月日 第1日目
令和5年7月3日(月)午後1時から午後5時まで
第2日目
令和5年7月4日(火)午前8時30分から午前11時30
- 2 会場 愛媛県松山市三番町5丁目13-1
- 3 目的 高松矯正管区教誨師及び関係機関職員が一堂に会し、これまでの積み重ねた宗教教誨の歴史を踏まえつつ、新しい時代にふさわしい宗教教誨の在り方について、研究協議することを目的とする。
- 4 研修題 メインテーマ「新しい時代と共に」
サブテーマ 「～新たな時代と宗教教誨の発展に向けて～」
- 5 参加者 73名
教誨師42名 矯正施設関係者31名
- 6 大会内容 第1日目 令和5年7月3日(月)
開会式
講演
演題 「宗教教誨への期待」
講師 福山大学人間文化学部教授 中島 学 氏
(1) 研修会(研究発表)
(ア) 刑事施設①
○演題： 「自らと向きあう」
○発表者： 山本 匡史 教誨師 (高松刑務所)
○助言者： 高巢 倫郎 高松刑務所統括矯正処遇官(教育担当)
(イ) 刑事施設②
○演題： 「教誨師の願い」
○発表者： 越智 瑞啓 教誨師 (松山刑務所)
○助言者： 大牟田 勇大 松山刑務所統括矯正処遇官(教育担当)
(ウ) 少年施設
○演題： 「新しい時代共に ～新たな時代と宗教教誨の発展に向けて～」
○発表者： 立岡 光顕 教誨師 (四国少年院)
○助言者： 谷 敏昭 四国少年院統括専門官(企画調整)
第2日目 令和5年7月4日(火)
(2) 研修会 (分科会)
第1分科会(刑事施設1)

- テーマ：「拘禁刑創設を踏まえた新たな宗教教誨へ」
- 座長：上野 忠昭 教誨師（高松刑務所）
第2分科会（刑事施設2）
- テーマ：「拘禁刑創設を踏まえた新たな宗教教誨へ」
- 座長：岩佐 円秋 教誨師（徳島刑務所）
第3分科会（少年施設）
- テーマ：「少年院法及び少年鑑別所法を踏まえた新たな宗教教誨等
在り方」
- 座長：二神 瑞隆 教誨師（松山学園）

7 研修の成果

3名の教誨師による、自らの宗教教誨の活動実績を基に研究発表を行うことで他の教誨師に対する宗教教誨の実施方法などのアイデアになったことに加え、質疑応答により、発表教誨師に対するフィードバックを行うことができた。

また、福山大学人間文化学部教授 中島学氏による講演は、近代宗教教誨の歴史として「大井上輝前」、「原胤昭」及び「田島隆純」の宗教教誨に対する取組を学ぶとともに、再犯防止推進法、少年法、刑法の改正を踏まえた今後の宗教教誨への期待について考えることができた。

別紙1「研修大会写真」

1 看板類

(1) 立看板



(2) 横看板・吊看板(メイン会場・第2日目)



2 研究発表

(1) 研究発表 (刑事施設 1 : 高松刑務所教誨師)



(2) 研究発表 (刑事施設 2 : 松山刑務所教誨師)



(3) 研究発表 (少年施設：松山学園)



3 講演 (福山大学人間文化学部教授 中島 学 氏)

